本日２月３日(金) 節分会(豆まき)をしました！

日本のステキな伝統をていねいにこども達に伝えていきましょう！

早いもので本日は「節分」です。「節分」とは季節の変わり目で、立春・立夏・立秋・立冬の前日のことです。暦の上では４日が立春で、いよいよ自然界では大地も含めて温かな春へと動き出していくことになります。
昔から季節の分かれ目には、「体調がおかしくなったり、バランスが崩れ、事故やケガ」になってしまうと恐れられてきました。その災いの原因としては「心にゆるみが出て、その隙間に悪い鬼が現れて暴れているからだ」といわれ、鬼の一番嫌いな臭い匂いの強いイワシの頭やトゲトゲの柊(ひいらぎ)で追い払うことによって守られることと、豆を投げて追い払う「節分に豆まきをする」と伝えられ、季節の行事として続けられて来ています。

「こどものもり」の節分には鬼が出てきません！

他の園やテレビ等では「節分」には子どもたちは鬼のお面を作り、誰かが鬼の衣装を着て金棒を持って暴れて出てきたのを、子どたちがキャーキャーと興奮して豆を投げたり、逃げる鬼を見て喜んでいる場面はよく見る光景ですが・・・・・？**「こどものもり」の節分では単に「面白おかしく豆投げゲーム」をするのではなく、「節分」の本来の意味を伝えています。「心の中の良くない鬼(わがまま・好き嫌い・泣き虫・いじわる・うそつき・欲張り・乱暴な言葉使い等)を追い払い「心も体もすてきな子になる」ために「豆をまく」ことを行っています。**

こどものもりでは・・・・何日も前から「節分にちなんだお話や紙芝居」をみて、造形コーナーでは園の家長としての理事長先生が着る「裃(かみしも)」を作り、準備をしました。本日理事長先生は木の枡（ます）を持ち、年齢毎(ちゅうりっぷ組とこすもす組・さくら組・たんぽぽ組）が集まっている部屋へ行き子どもたちと一緒に「ふくは～うち♪」「オニは～そと♪」と言いながらほんの少量の豆をまきました。年長のすみれ組は「太陽の部屋」に集まり、園長先生から「節分」の話を聞き、豆まきをしました。どの子もみんな「心の中の良くない鬼を追い払い,どの子も**『光の子』として**ニコニコ笑顔で心のすてきなよい子になることをいつも願っています。」その思いを大切に受け止めていくことが大人の役割であり、ご家庭での役割とも思いますので、園と家庭が一緒になって育てていきましょう。
よろしくお願いいたします。

「節分豆知識」

家の玄関に鬼の一番嫌いな「豆と柊（ヒイラギ）とイワシの頭」を飾り追い払うため。「豆」はお腹の毒素を出す、「ヒイラギのとがった葉」が鬼の目をつぶす、「イワシの頭の腐ったにおい」は鬼が嫌うと言われています。
（本日、園の正門に説明付で飾りました。）
～皆様が良い一年を過せますように！～

恵方巻(えほうまき)を作って食べ、今年も元気で、良い子が育っていきます！

調理室の吉田先生がちゅうりっぷ組とこすもす組で、さくら組、たんぽぽ組、すみれ組はランチルームにて「恵方巻」のデモンストレーションを子どもたちの前でしてくれました。
「恵方巻」のいわれは「節分の夜にその年の恵方(えほう)（今年は南南東）に向かって目を閉じて一言もしゃべらず、願い事を思い浮かべながら太巻きを丸かじりするのが習わし」とされています。
中味は「七福神」に因み、「福を食べる」という意味があるそうです。ランチルームで、一人一人「南南東」を向いて、願い事がかなうように静かに（モクモクと）黙って食べる子どもたちでした。
ご家庭でも家族そろって、この一年が災いや病気にならず、明るく笑顔の毎日でありますようにお祈りいたします！

【おしらせ】＊調理師の吉田先生が5年間こどもたちにおいしいランチやおやつを作ってくださいましたが、都合により1月31日付で退職されました。本日は「恵方巻作り」に来てくださいました。お元気でお過ごしください。
＊2月の雑費納入期間は2月15日（水）・16日（木）・17日（金）となり、前日に納入袋をお渡しします。
＊3月の雑費納入期間は卒園式などの関係で3月8日（水）・9日（木）・13日（月）となり、前日に納入袋をお渡しします。
尚、10日（金）はファミリーコンサートがありますので、納入時間はありませんことをご了承ください。